

6/16/2021 15:00～16:40 強い農林水産 コーディネーター堀口健治

農業経営の発展をサポートする仕組み：目標は労働力を合理化し、農業所得を増やすこと

スマート農業： 稲作、畑作(北海道)

1. **取り組みやすい・効果がよく見える** 自動運転の大型機械、ドローンの薬散布

2. **効果に比べて採算が合うか**：スマート農業は「費用対効果、見極めて」

①どのくらい人を節約？誰が費用を負担し何年で回収・最低必要面積は？

②リース方式は？ ③外部に依頼して利用料を払う方式は？

3. **あるべき技術という観点はどうか**：部分技術ではなく体系だった形。

例えばドローン直播はどうか。一部、大規模生産者に入っているが、移植、直播機との併用なのでかえってコスト増。収量変化・減少を補てんする実験補助金(ないし保険)を付けて、ドローン直播のみの経営はどうか。

	常雇い	臨時雇い	季節雇用
フラビ・ハローワーク 無料職業紹介 有料職業紹介 新卒・企業ホームページ 監理団体 派遣会社 派遣会社 請負会社 (パートナー企業) (観光業界)	直接雇用 労働者派遣 請負 他	正社員 常勤パート パート、アルバイト day work (副業)	◎地縁・血縁・近隣 ◎特定技能1号 外国 地域内移動 労働者 西若農ハルバー 作業受託 農協請負型 技能実習生 ◎農業 ツアー (ボランティア)

状況 1 農村では応募した中・高年(シルバー世代)層の絶対減。

2 都市に向けて応募者を求めた努力・工夫が大きい